

中根小の自然

第 42 号 2009 年 6 月 16 日

モンシロチョウの観察

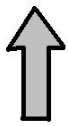
3 年生でモンシロチョウの育ち方を学習しています。いくつかの写真をまじえて確認してみましょう。なお、卵から羽化までは牛久二小で飼育していたものを撮影しました。



①卵：高さ 1 mm くらい。
うすい黄色からオレンジ
色っぽくかわっていく。

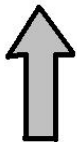
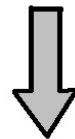
② 1 回皮を脱いだよう
虫：体長 5 mm くらい。
生まれたてのは 2 mm
くらいで、脱皮するた
びにどんどん大きくな
る。

③ 4 回皮を脱いだ幼虫：体長 3 cm くらい。
体の横の丸いもようは、気門(きもん)という
息をするための穴。あしは 8 対に見えるが、
本物のあしは 3 対。

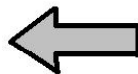


⑦よく似たスジグロシロチョウの交尾：
こうして次代の子孫となる卵をつくる。

④さなぎ：じっとして
いるように見えるが、
中では幼虫の体をどろ
どろにし、はねや触角
など成虫の体を作り直
している。



⑥自由に飛び
まわるチョウ
：いろいろな
花のみつを吸
う。



⑤羽化したてのチョウ
とさなぎのカラ：背中
と首のところが割れて
羽化する。血管が血圧
で押されて伸びだし、
くしゃくしゃのはねを
広げる。血管は固まっ
てはねの脈となる。



たまご→よう虫→さなぎ→せい虫

を、春から秋にかけて 5, 6 世代くり返す。

[理科支援員 宮内]